

③④ 身近な自然を楽しむ: 秋の便りは、あちこちの草花から

Enjoy the surrounding nature: Autumn news comes from flowers everywhere

10/25/2023

吉野輝雄

すでに秋の真っ直中！のはずだがまだ気温が高く、大量の雹を伴う雷雨が各地で起きている。今年の秋は、穏やかで爽快な秋が感じられないのではないかな？

それでも草木の花に目をとめると、確実に秋になっている事が分かる（例年よりも遅めだが……）。可憐な花の**秋明菊**がその一つだ。なぜ？名の由来を調べると、中国の修行僧が京都の貴船神社近くに咲く花に魅せられ、冥土の花：**秋冥菊**と名付けたが、後に秋明菊と改名されたと言う。学名は、*Anemone japonica*。菊ではなくアネモネの仲間。

秋を香(嗅覚)で知らせてくれるのが**キンモクセイ**（金木犀）。今年は特に花の付き方が豊かで、公園内を散歩していると、並木から甘く優しい香りがシャワーのように降りかかって来た。そこで香りの元に目をやると、橙色の花の隣に薄く白に近い花の木があるのに気づいた。近づいて嗅ぐと、すっきりとした上品な香。**ギンモクセイ**（銀木犀）であった。

先号で秋咲きの**朝顔**を紹介したが、**ヒルガオ**（昼顔）と珍しい**ヨルガオ**（夜顔）を見ることができた。ならば**夕顔**は？と捜したが無念。その代わりに、**かんぴょう**（干瓢）大好きなフランス人が栃木の夕顔畑と干瓢づくり農家を訪ねるTV番組を観た。カボチャ畑のような所から20cm位の大きさの実（フクベ<瓢>）から細長いかんぴょうが作られる様子がとても面白かった。

秋の花と言えば、やはり**菊**を挙げる人が多いのではないかな。本格的には11月が見頃で、種類も多く挙げきれないのが悩みだが、かつて**菊を特集**したことがあるので参照されたい。http://www.sengawacx.com/LookNatureNo32_2020.jpg
アルバムの菊は野生種で、どちらかと言えば**マイナーな菊4種**である。



最後のコーナーは、**秋の草花4種**のアラカルト。第一は、真っ白で対称形の花は清楚で美しい**タマスダレ**(玉簾)。次は**ニラ**(菰)の花をクローズアップ撮影したもの。意外では？ひたち海浜公園の丘一面を赤く染める**コキア**(ほうき草)を近くの農家の庭で見つけた。最後は、細く燃える炎を想わせるが、風の中を舞う蝶の姿に由来する**フウチョウソウ**(風蝶草)。